

平成30年11月 7日

全国国公立幼稚園・こども園長会 各会員様

全国国公立幼稚園・こども園長PTA連絡協議会 各会員様

全国国公立幼稚園・こども園長会 会長 <sup>あらやま</sup>新山 裕之

全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会 会長 <sup>いぎ</sup>猪木 直樹

## 西日本豪雨被害等への支援と第一次支援について（お礼とご報告）

今年は、残念ながら全国各地で自然災害が猛威を振るい、人間や文明の脆さを感じる夏となってしまいました。しかし、その一方で、その後の復旧や支援活動に際しては、日頃から各園で先生方と保護者や地域の皆さんが、子どもたちを真ん中において丁寧に絆を深めていることが、このような非常時にこそ役に立ったと実感しています。

今回は、被災地支援に関して、8月6日付の文書で、国公幼と全幼Pが連携して呼び掛け、全国各地の幼稚園・こども園で、園とPTAが連携した支援活動を進めていただきました。9月には、被災地から寄せられた情報を『他人事でなく、自分事として』という文書にまとめ、各都道府県会長様にお届けしました。大阪市の幼稚園では、2学期の始業式で、保護者や子どもたちへの説明に活用していただいたところ、その直後の台風21号で園庭を埋め尽くした飛散物を、朝早くPTAの皆さんが協力して片付けてくださったというエピソードもお聞きしました。まさに、他人事としてではなく自分事として受け止めた心温まるご支援をたくさんいただくことができ、深く感謝しております。

その後、北海道胆振東部地震や台風が次々と発生して日本各地に被害をもたらしたため、西日本豪雨被害だけでなく、その他の災害も含めて支援したいという思いを込めて募金してくださった方も多かったように思います。9月28日（金）の締切後もたくさんの支援金が寄せられました。

おかげをもちまして、国公幼と全幼Pが連携して実施した、今回の西日本豪雨被害等への支援金は、合計総額 15,443,516円（10月30日現在）となりました。

各都道府県会長のご協力を得ながら情報収集を行い、特に大きな被害があった岡山県、広島県、愛媛県、北海道等の会長と国公幼・全幼P会長・事務局長等とも協議を進めた結果、第一次支援として、西日本豪雨において、園舎が床上浸水相当の被害を受けた岡山県、広島県、愛媛県の合計8園にご活用いただけるよう、お届けしたいと思います。

11月には国公幼、全幼Pともに、常任理事会・都道府県会長会や理事会があり、全国から代表者が集まります。改めて、西日本豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震の具体的な被害状況について報告をいただいた上で、協議し、必要に応じて第二次支援や今後の非常事態などに活用したいと思います。それまでは、残った支援金は『国公幼災害支援金対策委員会』の口座にプールしておきます。

改めて、各地で災害被害に合われた皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。併せて、子どもたちを愛し、幼稚園・こども園を支えていただいている皆様に深く感謝申し上げますとともに、引き続きのご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。